

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2021年 12月 23日

事業所名:放課後等デイサービスガリレオ深江北・東灘教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	深江北事業所は十分なスペースが確保されているが、東灘事業所は、少し手狭である。一体型事業所として、運営を行っているため、深江北事業所の方で多くのご利用者様の観護を行っている。	深江は広いと聞いている。	深江北事業所内を見学して頂けていないご家庭もあるので、保護者会等を設け、見学をして頂く機会設定する。
	2 職員の適切な配置	適正人数を下回らないように配置を行っている。	職員間のスキルの差が大きいと感じる時がある。	研修機会をより設け、職員間でのアドバイス等行い、専門性の均一化を図っていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	パーテーション等を活用することで、安全に配慮しながら、空間の仕切りをつけることができるようにしている。	見学の機会が少なかったり、参加型のイベントを逃してしまい、わからない。	面談等の時に見学時間を別途設ける。参加型イベントの開催数を増やす。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	開所日は毎日、朝夕と掃除を行っている。活動に必要な物を適宜準備している。	見学の機会が少なかったり、参加型のイベントを逃してしまい、わからない。	面談等の時に見学時間を別途設ける。参加型イベントの開催数を増やす。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎週会議を設けることにより、全職員が積極的に参画可能な体制を構築している。		今後も同様の手法を継続して行く。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	定期的に地域の事業所連絡会・東灘区自立支援協議会に出席し、各関係事業所との情報交換を積極的に行い、幅広く、業務改善の参考となる意見を取り入れるようにしている。		今後検討をしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に外部講習を受講したり、内部研修を行ったりしている。また、事業所内で外部講習の情報の共有を行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適宜アセスメントを改定し、職員間での情報共有やケース会議を行っている。		各保護者様との面談日程のスムーズな設定を行っていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	毎開所日に、ご利用者様の様子を全体共有し、個別活動時と集団活動時での計画を再考を図っている。	作成や内容は、希望に沿ったものを作成してくれるが、改定のタイミングがずれる。	各保護者様との面談日程のスムーズな設定を行っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画に明記の上、各保護者様へ報告を行っている。		各保護者様との面談日程のスムーズな設定を行っている。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画改定後、全職員へ改定内容の共有を行っている。	職員により差がある。	具体的な支援方法を適宜職員間で共有、話し合い、均一化を図る。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	次月の予定作成時の会議を設け、特定の職員のみがプログラムの立案を行わない環境を設定している。		今後も同様の手法を継続して行く。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	各ご利用者様の送迎時間を考慮しつつ、無理のない支援、療育の設定を心がけている。	新型コロナウイルスの状況下でも、工夫をしてくれている。	今後も同様の手法を継続して行く。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	なるべく同じ外出先、同じプログラムを毎月入れないように留意し、新規外出先の開拓やプログラムの設定を行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼を行い、各事業所の職員が揃ってから、再度各事業所ごとに一日の流れを確認している。		今後も同様の手法を継続して行く。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎開所日の帰りの送迎終了後に、終礼を行い、その日のことや保護者様方から聞いた情報の共有を行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々のご利用者様方の様子を日誌に書き留め、終礼時にご利用者様方の様子を共有している。		今後も同様の手法を継続して行く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	適宜保護者の方と面談を行っている。	利用者のニーズに合わせて対応していく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議が行われる際には、出席をするようにしている。	利用者のニーズに合わせて対応していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在該当ご利用者様なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在該当ご利用者様なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在該当ご利用者様なし	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在該当ご利用者様なし	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員に必要な研修の受講を進めている	今後も同様の手法を継続して行く。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在の新型コロナウイルスの関係により未実施	コロナ下の為、実施されていないが仕方ないと思っている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在の新型コロナウイルスの関係により未実施		利用者の事情に配慮しながら、今後、地域に開かれた事業所となる為に出来ることを検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書に記載があり、利用開始前の契約時に詳しく説明している。		今後も同様の手法を継続して行く。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者との面談を実施し、保護者に対して丁寧な説明をするよう努めている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在のところ、プログラム化したペアレント・トレーニング等は実施していない。		ニーズがあれば、専門家がペアレント・トレーニングを実施している機関を紹介する等、他機関連携に努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日頃から連絡帳や送迎時等にやり取りしながら保護者との情報交換を密にするように心がけ、面談等でより子どもの共通理解が出来るように話し合いの場を設けるようにしている。	送迎時や電話でよく伝えてくれるので、ありがたい。	今後も同様の手法を継続して行く。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日頃の送迎時や面談時に必要に応じて行っている。		面談の機会を増やすことにより、より手厚いサービスを提供できるように体制を整える。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在の新型コロナウイルスの関係により未実施	コロナ下なので、仕方ない今は、集まれる機会はないが、保護者参加型のイベントは良かった。	利用者のニーズに合わせて対応していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対しては、責任者が迅速に対応できるよう体制を整えている。対策等は職員間で検討している。	対応のスピードが早い	今後も同様の手法を継続して行く。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	必要に応じて電話や面談等で細かな説明を行う等している。		今後も同様の手法を継続して行く。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、事業所のお便りを作成し、配布している。	毎月のお便りの発行で様子がわかりやすい。	今後も同様の手法を継続して行く。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	施錠できるロッカーで個人情報の管理を行いPCの個人情報については、パスワードを設定し管理を徹底している。その他、廃棄書類等のシュレッダーを活用し、情報管理を徹底している。		今後も同様の手法を継続して行く。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	全てのマニュアルを設定し定期的に読み合わせを行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年3回の避難訓練・防災訓練を行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	自治体が発する虐待防止向上力研修に参加し、それを基に事業所内で虐待防止に関する研修を行っている。		今後も同様の手法を継続して行く。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事例がないため、放課後等デイサービス計画への記載はしていない。		必要に応じ検討していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	調理療育を行う場合には、それぞれの子どもが持っているアレルギーには十分配慮し、適切な対応ができるよう職員すべてに周知するようにしています。アレルギー調査票も各家庭に配布・回収しています。		必要に応じ、医師の指示書を取り寄せ対応する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が起こった時にヒヤリハットを作成し、原因と予防策等を職員間で話し合い周知に努めている。		今後も同様の手法を継続して行く。